

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年5月11日		記入者		連絡先	784-1141内457
平成18年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
平成19年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
事務事業名	青根簡易水道運営事業					
予算上の事務事業名	青根簡易水道事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標	#N/A					
政策名	#N/A					
基本施策名	#N/A					
施策名	#N/A					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
水道法他関連法令（市簡易水道条例・市簡易水道施行規則・給水装置工事規則・給水工事事業者規則）						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	平成15年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
青根簡易水道事業の給水区域への安全且つ、安定した飲料水の供給と水源の確保と青根簡易水道事業の効率的な事業運営を行う。					青根地区の水道使用者	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
安全で安定した水道水の供給のための施設の管理運営及び安定して水道水源確保のための予備水源再整備事業等の実施をした。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
神奈川県企業庁はじめとする各自治体も同様な目的で実施している。						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	55,428	47,275	40,000	
一般財源	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	55,428	47,275	40,000	
人件費の合計	0	0	9,660	9,660	9,660	
事業コスト合計	0	0	65,088	56,935	49,660	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	青根簡易水道運営事業			対象名称 と単位	給水件数(件)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	65,088	56,935	49,660	
対 象 数	0	0	306	304	304	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	212,706	187,286	163,355	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.88	0.87	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	施設管理運営業務委託（本）	指標式と指標の説明	水道水の安心且つ安定供給のための適切な施設の管理運営業務委託本数の実施状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	10.0		
目標	0.0	0.0	10.0	13.0	13.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	施設修繕（本）	指標式と指標の説明	水道水の安心且つ安定供給のための適切な施設の管理運営による施設修繕実施状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	7.0		
目標	0.0	0.0	7.0	4.0	4.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		給水区域への安全且つ、安定した飲料水の供給に向け、更なる効率的な事業運営を行う必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
給水区域への安全且つ、安定した飲料水の供給に向け、更なる効率的な事業運営のため新たな業務委託を進める必要がある。更には将来的な安定給水へ向け県営水道への移管をする必要がある。			更なる効率的な事業運営を行う必要があるが、今後施設経年劣化等により維持管理運営費増及び修繕件数増が認識される。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・将来的な安定給水に向け今後のあり方を検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			